

平成 23 年 3 月 31 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦  
電話番号 03-5730-2480

### メドレックスとアンジェス MGがライセンス契約を締結

－ NF- $\kappa$ B デコイオリゴの皮膚浸透性を改善 －

当社は、この度、株式会社メドレックス(以下、メドレックス)と、同社が保有する経皮製剤技術の導入に関するライセンス契約を締結致しましたので、お知らせいたします。

当社とメドレックスはこれまで、NF- $\kappa$ B デコイオリゴを使用した外用剤の皮膚浸透性を一層改善させるため、メドレックスが保有する新規経皮製剤技術を用いた新たな製剤の共同開発を進めてまいりました。この度、当社は NF- $\kappa$ B デコイオリゴをアトピー性皮膚炎をはじめとするすべての皮膚疾患用途に開発する際、同製剤技術を使用できる実施権をメドレックスより取得致しました。本ライセンス契約締結に伴い、両社間のより緊密な協力関係を構築する為、メドレックスへの出資もあわせて行います。

NF- $\kappa$ B デコイオリゴを含め siRNA やアンチセンス等の次世代の医薬品として注目されている核酸医薬品は分子量が大きいため、目的とする臓器に必要な量の薬物を到達させることが難しいという問題点があります。そのため、如何にして十分な薬物を目的部位に届けるかという事が、医薬品として開発するうえでクリアすべき課題として挙げられます。NF- $\kappa$ B デコイオリゴについては、メドレックスの製剤技術を採用することにより、従来の軟膏製剤と比べ、皮膚浸透性を数十倍程度向上させることが期待されるため、既に臨床試験で治療効果が示されており、皮膚浸透性が比較的高いと思われるアトピー性皮膚炎の顔面病変に限らず、より広範囲な皮疹への効果や、乾癬等の他の炎症性皮膚疾患への応用も期待できます。さらに、製剤中の薬物量を少なくすることが可能になることから NF- $\kappa$ B デコイオリゴの事業性価値を向上させる事も可能になるものと期待しております。

本件による本年度業績への影響はありません。

以上

## 【ご参考】

社名： 株式会社メドレックス  
本社： 香川県東かがわ市西山 431-7  
代表者： 代表取締役社長 松村 眞良  
設立： 平成 14 年 1 月  
資本金： 1,997 百万円(平成 22 年 12 月末)  
従業員： 23 名(平成 22 年 12 月末)  
連結売上高： 291 百万円(平成 22 年 12 月期)  
事業内容： 製剤技術を基軸とした医薬品開発

## － 用語の解説 －

### 1. NF- $\kappa$ B( nuclear factor-kappa B)

遺伝子は、生体の恒常性を維持する上で重要な働きを担っていますが、ほとんどの遺伝子が常に使われているわけではありません。遺伝子を必要な時に使うためにコントロールしているのが、転写因子と呼ばれるたん白質です。NF- $\kappa$ B は重要な役割を担っている転写因子の一つであり、炎症、免疫やストレスなどに関連した様々な遺伝子の発現を調節しています。しかしながら、NF- $\kappa$ B は、様々な原因により過剰に活性化されると、遺伝子の発現が止められなくなり、過度の炎症や免疫反応を引き起こします。

実際に、アトピー性皮膚炎、乾癬、関節リウマチなど異常な炎症や免疫反応が原因となっている疾患への NF- $\kappa$ B の関与が指摘されています。

### 2. デコイ

遺伝子は、転写因子がゲノムに結合することで発現しますが、デコイは、そのゲノム上の転写因子結合部位と同じ配列を含む二重鎖の短い核酸で、体内に投与すると転写因子がゲノムに結合することを阻害して遺伝子の働きを抑えます。

### 3. NF- $\kappa$ B デコイオリゴ (NF- $\kappa$ B decoy oligodeoxynucleotide)

NF- $\kappa$ B デコイオリゴは、NF- $\kappa$ B に対するデコイ(おとり)であり、転写因子そのものを標的とすることから、既存の薬剤と比較して治療薬として優位性があると考えられ、また副作用の面でも軽減することが期待されます。当社では、アトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチなど免疫反応を原因とする疾患の治療薬として開発しております。

#### 4. メドレックス社の保有する新規製剤技術

常温で液体の「塩」であるイオン液体(常温熔融塩とも呼ばれる)を活用した経皮吸収技術です。本技術を用いる事により高分子を含む有効成分の経皮吸収性を飛躍的に向上させることが期待されます。

以上